

# 令和3年事業計画書

社会福祉法人 至福の会

本部

特別養護老人ホーム むさしの園

むさしの園ショートステイ

特別養護老人ホーム むさしの園わかば

ケアハウス むさしの園

むさしの園デイサービスセンター

むさしの園デイサービスセンター富士見

むさしの園在宅介護支援センター

むさしの園ホームヘルプサービス

サービス推進課

生活困窮者に対する相談支援事業

ひまわり保育園

むさしの森保育園



# 目 次

本 部	P 1
組織図	P 2
社会貢献活動	P 3
特別養護老人ホーム むさしの園	P 4～1 2
むさしの園ショートステイ	P 1 3
特別養護老人ホーム むさしの園わかば	P 1 4～2 2
ケアハウス むさしの園	P 2 3
むさしの園デイサービスセンター	P 2 4～2 6
むさしの園デイサービスセンター富士見	P 2 7～2 8
むさしの園在宅介護支援センター	P 2 9～3 0
むさしの園ホームヘルプサービス	P 3 1～3 2
サービス推進課	P 3 3
生活困窮者に対する相談支援事業	P 3 4
ひまわり保育園	P 3 5
むさしの森保育園	P 3 6



## 令和3年度社会福祉法人至福の会事業計画

- 1 社会福祉法人至福の会の経営理念を「クレド」の実践します。  
～関わる全ての人を幸福にすること～

We thank beautiful life

- 2 社会福祉法人至福の会のビジョン

「自分が心から利用したいサービスを提供していきます。」 「5年後までに、新しいサービス拠点を実現させます」

- 3 事業計画

当法人のビジョンとして「5年後までに新しいサービス拠点を提供します」と掲げていますが、事業拡大はお休みし人材育成等を行い働きやすい職場環境を整え、最終的には残業のない法人を目指したいと考えています。昨今の労働関係の法改定、並びに社会状況等を鑑みて就業規則などの規則規定を前面改訂する。

社会福祉法人に社会貢献が求められています。当法人としても地域の福祉の拠点として社会貢献事業に取り組んでいきます。ケアラー事業もその一環です。

理事会・評議員会、監事会の開催については、別紙、「令和3年度至福の会会議予定表」にて進めて参ります。定款に定める決議事項及び重要な事項について必要な場合は、その都度理事会又は評議員会を開催します。

- 4 組織図

別紙「社会福祉法人 至福の会組織図」の体制 になります。

- 5 経営方針について

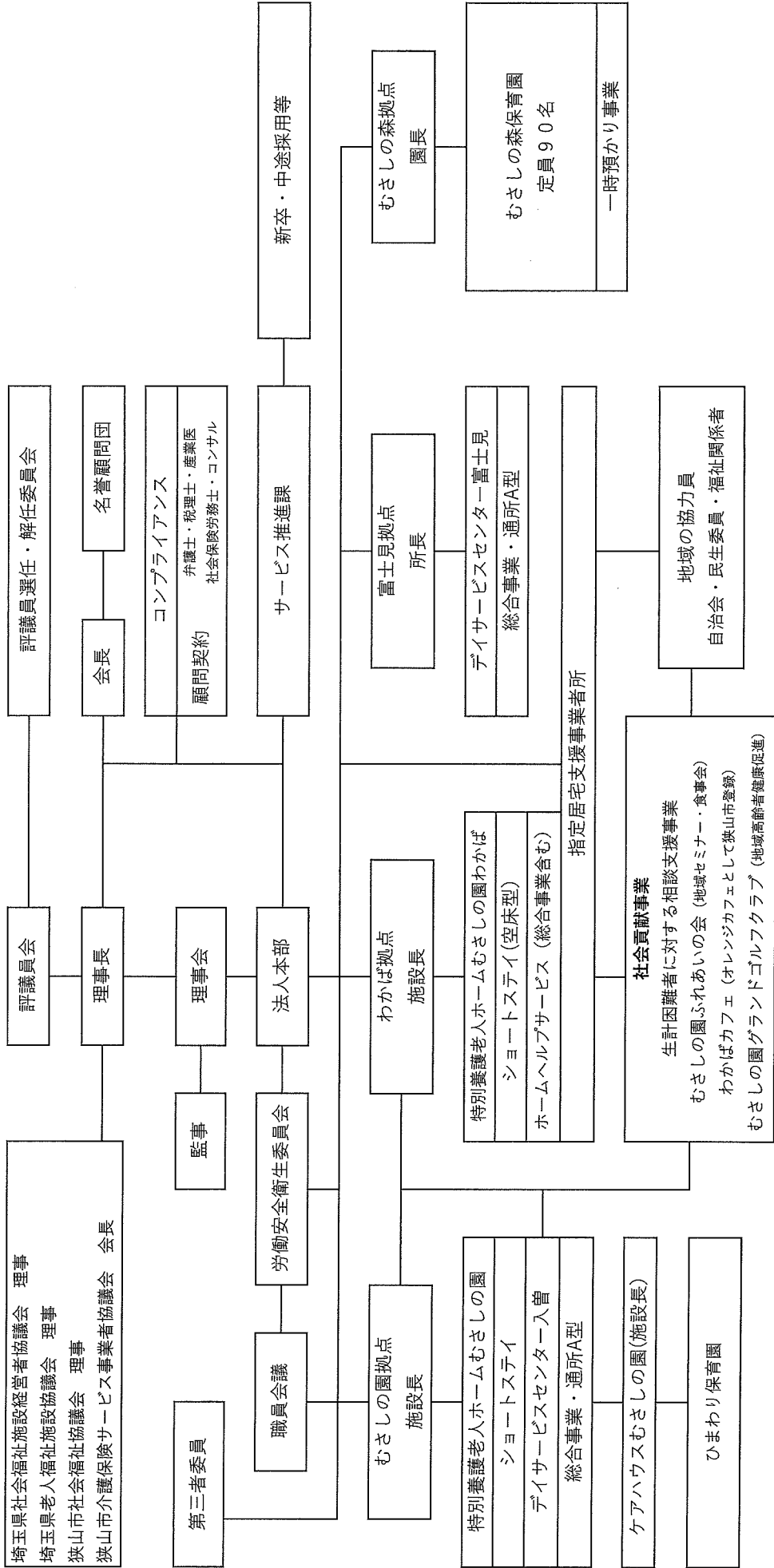
具体的な内容

- 就業規則等の変更令和3年4月に向けて改訂を進めています。
- 人材確保が大変重要な年です。  
一般社団法人 埼玉県老人福祉施設協議会から推薦依頼のある「介護の魅力PR隊」の推薦を行い公的立場での介護のPRをできればと考えています。
- 社会貢献のについても感染を考え出来ることは今までとおりに行おう予定です。

理事会・監事会の予定

令和3年 6月 4日	監事監査	午前 10時～12時
	理事会	午後 2時～ 3時
10月 2日	理事会	午後 3時～ 4時
令和4年 3月 25日	理事会	午後 3時～ 4時
評議員会		
令和4年 6月 22日	評議員会	午後 2時～ 3時

# 社会福祉法人 至福の会 組織



## 社会貢献活動

### 1、生活困窮者に対する相談支援事業

生活困窮者に対し、限度額 10 万円までの現物を支給。(食料品、公共料金など)

生活基盤の立て直しを目的としてご支援します。

### 2、フードバンク事業

規格外の品物や賞味期限が近い食品などを困っている方へ配布します。

### 3、グラウンドゴルフ事業

地域の高齢者を対象に法人の敷地に整備したグラウンドゴルフ場を低料金で開放し、いつまでも元気に過ごせるよう支援を行います。

### 4、ふれあいの会

6月と11月の年2回、地域の介護保険対象外の高齢者を集め、福祉講座や介護予防運動、バイキング型食事を低額で提供し、安否状況を確認します。

### 5、わかばカフェ

毎月、第二火曜日の14時から軽度の認知症高齢者や認知症高齢者を抱えるご家族、地域の高齢者が集まり、コーヒー等を飲みながら過ごしていただきます。介護の専門家であるケアマネージャーが常駐し、介護の相談ごとにお答えします。

### 6、地元自治会夏祭りの場所を提供

10月に行われる地元自治会の祭りへ場所を提供します。また、ご入居者もお祭りに参加し地域との交流を深めます。

\*新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑みて、活動を延期または中止することがあります。

### 今年度の目標（全体）

・全国で新型コロナウイルス感染症がまん延する中、当園でも感染対策を徹底します。また、新しい生活様式での介護を実践することで施設内での新型コロナウイルス等感染症の発生ゼロを目指し、利用者様が安心・安全に生活が送れるように努めます。月間20件の営業、5件の申し込み、年間稼働率98%以上を目標とします。

### 人材定着の取り組み

・業務マニュアル等を活用し、介護技術を指導することで、新人職員や外国人介護技能実習生等が学びやすく、働きやすい環境を作ります。  
・定期面談を実施し、悩みや不安の早期発見・対応を行う事で離職率の前年度比20%減を目指します。

### 行事

・3密の回避や感染予防対策等を徹底した新しい形での行事やレクを提供することで、利用者様の生活が充実したものになるよう努めます。  
・より一層、チーム毎で季節に応じた装飾を行う事で外出が難しい状況下であっても、季節感を感じていただけるよう取り組んでいきます。

### 研修

・内部研修を感染予防対策の徹底や、オンライン研修を活用することで継続実施し、基礎レベルの再確認から更なる知識・技術の習得及び向上を目指し、自己研鑽に努めます。  
・外部研修についても、感染予防を徹底し適宜参加することで、新しい知識・技術の習得を図ります。

### リスクマネジメント

・利用者様個々の状態に応じた環境整備や予防策を講じることで、転倒や誤嚥といった事故を未然に防げるように努めます。  
・誤薬事故等のヒューマンエラーを発生させないよう、マニュアルの整備・徹底、環境整備を施設全体で取り組んでいきます。

### 看取り

・主治医、看護師、介護職員等の関わる職種とご家族との円滑な連携を図り、利用者様の心身の負担を軽減するケアを提供します。  
・ご家族の精神的な支援にも努めることで、全ての人に「むさしの園で最期を迎えられて良かった」と思っていただけの様に最善を尽くします。



今年度の目標（医務）

- ・利用者様の既往、現病歴を把握し、体調変化を早期に発見し、適切な処置を迅速に行います。園内で行える最大限の看護を提供し、利用者様・ご家族との信頼関係を培えるよう努めます。
- ・お看取りの際は、苦痛緩和と安らぎを大切にし、その方らしい人生の幕を閉じる事ができるようサポートします。

人材定着の取り組み

- ・新人職員にマンツーマンで、わかりやすく指導を行います。
- ・1か月目に1日の流れ、役割、業務内容を指導、2～3か月目に回診指導を行う等、本人の理解のペースに合わせた指導をし、共に学んでいきます。
- ・不安や不明点などは、その都度聴けるような柔軟な姿勢で対応します。

行事

- ・「新しい生活様式」に基づいた視点から、行事に関わっていきます。
- ・行事实施の際は、誤嚥や転倒等の事故がないよう、十分に注意します。
- ・必要に応じ、適切にバイタルチェックを行い、健康管理を行います。
- ・利用者様が楽しく参加できるように支援していきます。

研修

- 緊急時対応として適宜研修を行います。
- ・初期対応の必要性
- ・様子観察のポイント
- ・バイタルチェックの仕方
- ・体位ドレナージの仕方
- ・嚥下機能低下、誤嚥について
- ・AED、酸素投与の方法
- ・感染症対策・予防について

リスクマネジメント

- ・配薬ミス防止のため、名前と内服時間を確認し、配薬トレーにセットします。
- ・使用済み針、血液汚染物等は適切に医療廃棄物に捨て、感染予防を徹底します。
- ・酸素ボンベや処置台などは、いつでも使用できるよう適切に管理します。
- ・新型コロナウイルス等感染症の情報を収集し、園内での発生防止に努めます。

医療連携

- 関係機関との連携
- ・嘱託医との連携
- ・回診スケジュールの管理
- ・他病院への受診依頼
- ・緊急時の対応、救急要請
- ・薬局への連絡、薬の確認
- ・利用者様入院先との連携及び、一部退院調整

今年度の目標（りんごチーム）

- ・利用者様の声を聴き、ニーズや意思を尊重して個々のペースに合わせた生活を支援します。
- ・認知症の方と自立度の高い方、双方に不快感がないような配慮に努めます。
- ・ショートステイ利用者様の情報共有を徹底し、安心してご利用頂けるよう努めます。

人材定着の取り組み

- ・職員間で業務等の悩みを相談できる場を設け不安等の軽減に努めます。
- ・実習生に対しマニュアルに沿った的確なアドバイスを行い、また職員間でも相談し合う事で、チーム全体の知識や技術の向上を図ります。
- ・常勤職員の介護福祉士資格取得率100%を目指します。

行事

- ・メリハリのある生活を過ごして頂ける様な課外活動やレクリエーション、日々の集いを計画していきます。
- ・個々に合わせた活動を発案し、1日1回は全員にレクリエーションを提供できるよう努めます。
- ・季節感のある装飾を行い、移り変わりを目で楽しめるよう工夫します。

研修

- ・月1回は必ず内部研修に参加し、知識や技術の振り返り及び学習を行い、日々の業務にフィードバックさせていきます。
- ・外部研修の機会があれば積極的に参加し、現場や各職員に反映していきます。

リスクマネジメント

- ・転倒・転落リスクの高い利用者様の特性を理解し、予防に努めます。
- ・チーム検討や会議での話し合い、チームノートなど活用し利用者様の対応の統一を行い、再発ゼロを目指します。
- ・誤薬事故の発生ゼロに取り組みます。

感染症対策

- ・感染症の感染源を初期の段階で突き止める為、利用者様の健康状態を常に観察してチームで把握し感染の拡大を防いでいきます。
- ・職員が媒介者にならないようこまめにうがい、手洗い、手指消毒を実施し、健康管理を怠らないよう努めます。

今年度の目標 (すももチーム)

- ・利用者様の状況を職員一人ひとりがしっかり把握し、個別性を尊重したケアを目指し、統一した支援を行います。
- ・昨今、新型コロナウイルスが流行しており、職員一人ひとりが日常から介護の専門家として高齢者と携わっていることを忘れず、感染対策に努めていきます。

人材定着の取り組み

- ・新入職員が業務を覚えやすいように業務マニュアルを使用することで、指導の一元化を目指します。
- ・専門的ケアのスキルアップを目指す事で、職員の達成感、意欲の向上に繋がります。また、個々の課題をチーム全体で共有し、不安や負担を軽減出来るような環境づくりに努めます。

専門性の追求

- ・最新の認知症ケアを一人ひとりが学び、個々の利用者様の状態や症状に合わせたケアをチームで検討し取り組みます。
- ・利用者様の個々のニーズをしっかりと把握し、好んできた物や生活習慣、生活歴等の理解を深め、安心して生活できるよう支援します。

人材成長・自己実現

- ・介護技術や認知症ケアの基礎を振り返りつつ、専門家として知識、技術を高めながら業務に取り組んでいきます。
- ・利用者様の嚥下機能を常に意識しながら食事介助や水分介助を行い、状態に応じて形態変更を行い誤嚥事故の防止に努めます。

リスクマネジメント

- ・常に利用者様の変化、状態を観察し、職員同士が連携することで、素早く危険を察知し、事故防止の徹底に努めていきます。
- ・事故発生時には医務や他職種と連携し、落ち着いて迅速な対応に努めます。
- ・チーム内で事故事例、ヒヤリハット検討を活用し、再発防止に努めます。

住環境整備

- ・毎日の体操や季節毎のレク、手作りおやつなどの行事開催率100%を目指し、心身の健康や機能低下予防に努めます。
- ・認知症フロアにおける感染症に対する知識を学び、感染対策を実践することで感染予防に努めます。
- ・マスクの着用、消毒の徹底をし、新しい生活様式での介護に努めます。

今年度の目標（かりんチーム）

- ・コミュニケーションを豊かにし、より良いケアを提供すると共に、心に寄り添った援助を行えるよう努めていきます。
- ・感染症対策として消毒、換気、健康管理を徹底し感染者ゼロを目指すと共に、利用者様が安心、安全に生活できる環境作りに努めていきます。

人材定着の取り組み

- ・職員一人ひとりの声に耳を傾け、不満や悩みを溜めないよう、相談しやすいチーム作りを行い、定着率100%を目指します。
- ・定期的に業務の洗い出しを行い、働きやすい環境作りに努めていきます。

行事

- ・季節を感じる事ができる行事や、装飾・音楽等を取り入れ季節を五感で味わって頂けるような計画を立て満足度100%を目指します。
- ・コロナウイルスの流行により、制限が設けられていますが、そう感じさせない行事を開催し利用様に幸福を感じて頂けるように努めます。

研修

- ・研修課題の実施・提出を促し参加率、課題提出率100%を目指します。
- ・緊急時対応を迅速かつ正確に行えるよう、チーム全体のスキルアップを目指します。

リスクマネジメント

- ・ヒヤリハット、事故を未然に防げるよう、日々のケアから危険意識を持ち取り組んでいきます。
- ・ヒヤリハット、事故発生後の原因究明、対策実施を徹底し、チーム内での同様事故発生ゼロを目指します。

ターミナルケア

- ・利用者様、ご家族とコミュニケーションを図り、どのような生活を送っていくかの共通認識を持ち、理想を反映できるよう最善を尽くします。
- ・最期までその人らしい生活を送れるよう、利用者様を理解し援助していきます。

今年度の目標（あんずチーム）

- ・利用者様に寄り添い、個々の身体、精神面等のニーズに合わせた援助を行い、また職員同士で情報を共有する事でケアの統一に努め、安心して生活出来る環境の提供に努めていきます。
- ・新型コロナウイルス対策として今後も消毒・手洗い・換気、新しい生活様式に取り組み発生者ゼロを目指します。

人材定着の取り組み

- ・職員同士がコミュニケーションを取れる雰囲気作りに努め、1人ひとりが明るく楽しく働けるチームに出来るようにしていきます。
- ・可能な範囲で業務分担をし、負担軽減を行い、職員がリフレッシュ出来るような環境作りに努めます。

行事

- ・施設内で過ごしている中で四季を少しでも感じられるように季節の行事や装飾、音楽等を取り入れ五感で感じてけるよう努めていきます。
- ・行事を企画する際に利用者様のニーズや身体機能を考慮したものを提供するよう努め、笑顔で楽しんでいただけるようにしていきます。

研修

- ・特養の研修だけでなく他部署、外部の研修に参加する事で職員の知識、技術の向上に繋げていけるよう努めていきます。
- ・職員1人が学んで来た事を1人のものにするのではなく全体に広げて行けるよう情報の交換に努め、チームをより良くしていきます。

リスクマネジメント

- ・ヒヤリハット、事故、誤嚥、誤薬を起こさないよう日々のケア1つ1つに対し危険意識を持ち、事前に防げるように丁寧に安全に努めていきます。
- ・事故等報告書から対応策の検討をし、チーム内で情報共有・対策の統一を徹底し、同様のヒヤリハット・事故がゼロになるよう努めます。

胃ろう者へのケア

- ・利用者様1人ひとりの身体に合った栄養摂取、管理方法の模索を行い他職種と連携を取って、より良い栄養の提供が出来るように努めます。
- ・胃ろう者に対しても、生活面からしっかりケアを行えるように知識やアイデアを生かし、安心して生活出来る環境提供に努めていきます。

今年度の目標（栄養課）

新型コロナウイルスの流行を踏まえ、より一層の安全で衛生的な食事提供に取り組めます。その上で栄養のバランスを考慮し、食べやすく、喫食者の嗜好に合った献立に基づいて、おいしくて生きがいを感じる事のできる食事を提供します。又、低栄養状態の予防・改善のため、医療と連携し高リスク者が5%未満を目指します。

栄養管理

食事摂取基準を定め、個々の状態に合わせて栄養計画を作成し提供します。

熱量	蛋白質	脂質	Ca	鉄
1530	52.7	39.1	633	6.3
kcal	g	g	mg	mg
VA	VB1	VB2	VC	
697	0.87	1.11	100	
μgRAE	mg	mg	mg	

行事

季節を感じられ、個人の嗜好に合わせた、生きがいを感じられるような行事食を提供します。とくに昨今は感染症による制限が多く、安全面に配慮した上で、充実した行事食を提供します。

- 四季折々の行事食（端午の節句等）
- 毎月 誕生日食、特養喫茶店、セレクトメニュー
- その他 各部署食事イベント、むさしの園フェスタ、鮪解体ショー

衛生管理

HACCP の概念に基づいた大量調理施設衛生管理マニュアルを参考に、食中毒予防対策を実施します。加えて新型コロナウイルスの流行を鑑みて通常の感染症のみに止まらずより一層の対応と防止に取り組めます。

- ・原材料の受入れ・下処理段階における管理
- ・食品の温度管理・二次汚染の防止
- ・調理施設・調理従事者の衛生管理

研修

内部研修や以下の外部研修等に、感染予防対策を徹底した上で積極的に参加し、知識と技術の向上を図ります。

- ・埼玉県老人福祉施設協議会主催栄養士研修
- ・狭山市内施設栄養士会議

人材定着の取り組み

職員がスムーズに業務を遂行できるよう業務の統一化を図り、働きやすい環境となるよう努めます。又、職員一人一人と円滑にコミュニケーションを取れるような職場を目指します。

- ・マニュアルの作成
- ・環境整備

## 令和 3 年度特養むさしの園

### レクリエーション年間予定表

	行事内容	計画書担当チーム
4 月	花見	すもも
5 月	チームレク	各チーム
6 月	チームレク	各チーム
7 月	かき氷	かりん
8 月	スイカ割り	あんず
9 月	フェスタ/敬老会	りんご/生活向上
10 月	昼食会	すもも
11 月	味覚会	生活向上
12 月	クリスマス&忘年会	生活向上
1 月	新年会	かりん
2 月	節分	あんず
3 月	ひな祭り/マグロ	りんご/生活向上

※行事計画書は、実施日の 1 か月前までに提出すること。物品申請や栄養科への依頼がない場合は、1 か月を過ぎても OK。

令和3年度内部研修一覧

2021/3/2

月	特養 デイ 在支	担当	事務系	担当
4月	法人理念	理事長	←	←
5月	感染症① コロナ対策 (基本動作、ゾーニング等)	既存 わかば それぞれ実施	←	←
6月	ケアプラン	大山	プライバシー保護	室岡施設長
7月	事故(浴槽)再発防止 身体拘束①	アマノ (増田)	パワーハラスメント	大野施設長
8月	高齢者虐待 身体拘束②	指田	セクハラ・マタハラ	遠藤施設長
9月	非常災害	遠藤施設長	←	←
10月	認知症 プライバシー保護	遠藤施設長	不審者	既存 わかば それぞれ作成
11月	感染症②	タカラ薬局 (遠藤施設長)	←	←
12月	緊急時対応 事故再発防止②	外部講師 (大野施設長)	セキュリティ	神津所長
1月	褥瘡予防 ポジショニング	増田	クレーム対応	大迫
2月	ターミナルケア	島田	接遇	増田
3月	プレゼン大会			

※動画は新しいものを準備する(新規撮影、youtube検索、一部流用も可)

※基本的に集合研修は行わず、各自動画閲覧による研修とする



### 今年度の目標

検温、消毒、マスクの着用、換気、三密の回避等、基本的な感染対策を徹底して行うことにより、新型コロナウイルスの感染予防を図り、感染者0を目標とします。また、利用者様、職員共に安心安全を感じられる、いつでも利用できるサービスを提供します。

### 人材定着の取り組み

日々の業務における不安や不満、コロナ禍における日常生活での漠然とした不安、業務における感染の不安等を溜め込まないように、またすぐに解消できるように、職員全員への細かなフォローを定期的実施し、離職率の前年度比20%減を目指します。

### 生活品質の向上

利用者様、ご家族からのご意見を積極的に取り入れ、満足度の高いサービスを提供します。

また、ご本人の現状に合わせたケアを提供する為に、担当ケアマネジャーや他事業所との連携を深め、情報の収集・活用・フィードバックに努めます。

### 新しい生活様式

オンライン会議やリモートでの研修を積極的に取り入れ、感染予防を実践すると共に新しい技術の習得に勤め、これまで通りのサービス品質を維持します。また、一人用テーブルや衝立を利用した食事時の対応、送迎車の利用毎の消毒等、これまでに無い対応も確実に実施しま

### リスクマネジメント

利用者様毎の歩行状態、食事形態・摂取状況、服薬状況、睡眠状況等、個々の状態を把握し、それぞれに応じた環境整備、予防対策を行い、安全を確保します。

また、ドライバー全員による送迎ルート・駐車スペース、玄関の段差の確認等を行い、事故防止に努めま

### その他

併設型ショートステイとしての特徴を活かし、在宅サービスと施設サービスのそれぞれの優位な面を有効に活用します。他部署とも連携し、デイサービス、ショートステイ、ホームヘルプサービス等、利用者様に最適なサービスを検討・提供します。

今年度の目標（事業所）

（中長期目標）

「ユニットリーダー研修受け入れ施設を目指す（5か年計画で4年目）」

（今年度目標）

- ・ケアプランに沿って24Hシートを実践し、根拠に基づくケアを実行できる
- ・ケアマニュアルの完成及び実行
- ・平時から感染症に対する意識を高め、「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」を徹底する

（稼働について）

- ・年間入居者稼働98.0%以上
- ・入居申し込み数月4件  
（前年度実績平均月1.6件）
- ・施設紹介活動目標  
訪問20件/月、電話FAX20件/月
- ・新規紹介事業所の拡大

リスクマネジメント

- ・月1回の会議実施とヒヤリハット報告書からの情報を分析し、事故を未然に防ぐ。また会議体で分析を行い、繰り返しの事故につながらないよう対策をとる
- ・事故が起きた際に、状況確認を行い、多職種で話しあい、再発防止に取り組む
- ・年2回研修を実施し、全職員が身体拘束について理解を深め、ご家族にも理解をいただきながら身体拘束ゼロを目指す

今年度の目標（職員）

- ・法人理念、施設理念の浸透に努め、すべての職員が理念を意識できる
- ・離職率10%以下（介護業界平均14.8%）を目指し、職員一人ひとりが働きやすい環境づくりを担っていることを意識し、良き相談相手になれる
- ・社会人としてのモラルと介護職員としての使命感、プロとしての誇りをもって仕事ができる

研修

- ・オンラインを活用して、内部研修を実施する
- ・外部施設との情報交換の機会を作り、施設間の交流を図る（年2回程度）
- ・外部研修を実施し、リーダーとしてのマネジメント能力を向上させる
- ・昨年に続き、実務者研修を実施し、職員の定着支援並びにスキルアップを目指す

地域における公益的な取り組み

- ・地域向け勉強会の開催  
（認知症サポーター養成講座等2回以上）
- ・感染症の動向を見ながら、行政、地域主催の催事への参加、協力  
（若葉台夏祭り、オレンジカフェ、事業者協議会の企画参画）
- ・同法人保育園児との交流

今年度の目標（入居者様）

- ・入居者様の健康管理に努め、施設での生活を継続できるよう、病状の早期発見するように支援していく。
- ・入居者様の状態に変化があったときは、ご家族に安心感を持ってもらえるよう、こまめに状態報告をしていく

今年度の目標（職員）

- ・医務内での申し送りは口頭と申し送りノートを利用し情報共有する。
- ・看護職全員で協議し、統一した方向性を持ち、入居者様の対応をしていく。
- ・自分自身の健康管理を徹底する。

多職種連携

- ・担当者会議の場や普段の勤務の中でも、多職種職員ともコミュニケーションをしっかりと、きちんと情報を伝えていく。
- ・看護職としての意見をしっかりと伝え、多職種からの意見を受け入れる。

看取りに対する思い

- ・他職種とご家族と一緒に話し合う機会を持ち、十分に相談し、入居者様が最期まで安心して統一したケアを受けられるようにサポートする。
- ・「食べる」ことを大事にして入居者様のペースに合わせてながら無理をせず食事を楽しんでいただく。

リスクマネジメント

- ・誤嚥性肺炎の予防・早期発見に繋がるように状態観察をし、介護職へのアドバイスもしていく。
- ・転倒転落、皮下出血、誤薬、与薬エラーを防ぐため、さらに提言をしていく。
- ・褥瘡、皮膚トラブルを予防できるように多職種で話しながら、早期対応を実践していく。

ユニットケア

- ・ご家族と関わり合いを持ちながら、「暮らしの継続」が叶うように支援していく。
- ・入居者様を第一に考えて、入居者様が過ごしやすく、安心して生活できるように働きかけていく。
- ・食べたいものを食べてもらえるよう、他職種やご家族と話し、関わりを持つように努めていく。

今年度の目標（入居者様）

- ・24Hシートをもとに、入居者様一人ひとりがゆったりと穏やかに毎日を過ごして頂けるような環境作りに努める。
- ・尊厳と感謝の念を持ち、受容・傾聴の姿勢を心がけ、信頼関係を築けるよう努める。

今年度の目標（職員）

- ・職員同士のチームワークを大切に、何でも相談し合え、明るく笑顔の多いユニットを目指し、信頼関係を築けるように努めていく。
- ・ユニット会議を毎月実施し、積極的に発言し、入居者様へ適切な対応を検討し実施する。

行事

- ・ユニット独自のレクリエーション強化を行い、新しい行事の開催に向けて入居者様の意見を伺い、職員で話し合い実施していく。
- ・おやつレク、食事レク、外出レクなど月1回以上企画し、実施する。

感染症への取り組み

- ・感染症への知識を深め、換気・消毒の徹底と、健康管理に努める。
- ・日頃から感染症に対する意識を高め、「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」を徹底する。

リスクマネジメント

- ・褥瘡ゼロを目指し、多職種と連携を図り、職員のスキルアップ・早期に原因追求・予防ケアを実施する。
- ・尿路感染ゼロを目指し、排せつケアを見直し正しい方法で介助を行い、入居者様の清潔保持に努めていく。

ユニットケアの取り組み

- ・24Hシートに基づいたケアの徹底と、担当職員による24時間シートの更新を進める。
- ・職員間で意見交換の機会を増やし、月1回ユニット会議を開催し、職員全員でユニットケアを推進していく。

今年度の目標（入居者様）

- ・個々のニーズに応じた援助を心掛け、入居前と後がつながり、今までと変わらない生活を送れるように努める。
- ・24Hシートを使用し職員全員が、入居者様一人ひとりに合った統一された援助をする事で、安全と安心を提供する。

今年度の目標（職員）

- ・スキルアップに向けて、積極的に学べるように、ユニット全体で協力体制を作り、資格取得に挑戦ができる環境を整える。
- ・専門的知識を増やし入居者様により良い生活をしていただけるように支援する。

行事

- ・今現在の感染症対策を徹底して、季節に合ったレクリエーション等を月に1回以上提供し明るく、楽しい環境作りを行う。
- ・入居者様の状態に合わせたレクリエーションを企画し、楽しみを増やす。

感染症への取り組み

- ・感染症マニュアルを理解し、一人ひとりができることを確実に言い、感染リスクを減らす。
- ・感染症が発生した場合、迅速に対応できるように、ユニット会議で検討し、有事に備えて連携が取れるように努める。

リスクマネジメント

- ・発生したヒヤリハットを職員全員で共有し、原因分析と対策を講じて安心して安全な介護を行う。
- ・事故分析をしっかりと行い、同様の事故による受診0件を目指す。

ユニットケアの取り組み

- ・居室担当が24Hシートを作成することにより、入居者様の思いを理解する力をつける。
- ・ユニット会議を毎月実施することで、入居者様の情報を共有し、分析、対策を講じ24Hシートを活用する。

今年度の目標（入居者様）

- ・日頃から入居者様との関わりを大切にして、入居者様一人ひとりの気持ちに寄り添い、声に耳を傾けて思いを共有する。
- ・入居者様のペースを大切にして、毎日を安心して、穏やかに過ごせる環境づくりを行う。

今年度の目標（職員）

- ・職員同士、積極的な意見交換や検討を行い、より良いユニットづくりを目指す。
- ・入居者様一人ひとりの生活リズムや意思を尊重し、今できることの継続を大切にしながら、24Hシートの作成を行う。それを元に、ユニットで統一したケアを提供する。

行事

- ・季節に応じた、月一回以上のユニットレクリエーションを企画・実施する。
- ・入居者様のストレスの解消と心身の気分転換を図るためにも、日頃より個々に合わせたレクリエーションの提供を行う。

感染症への取り組み

- ・手洗い、うがいの徹底。消毒、換気等を行い、清潔な環境を保ち感染症予防に努める。
- ・それぞれの感染症の症状を理解し、ユニットや個々でも学びを深め、発生時には迅速・適切な対応をとることを目指す。

リスクマネジメント

- ・ヒヤリハットを元に、日々の介護経験や気づきをユニットで共有することで、起こりうる事故を予測する力を身につける。
- ・ヒヤリハット報告書、事故報告書から、原因分析や具体的な対応策を立て、再発防止に努める。

ユニットケアの取り組み

- ・ご家族へ、入居者様の日々の生活状況を報告、連絡し、情報の共有をする。
- ・ユニットとご家族との信頼関係を築き、意見交換を行いながら想いをケアに反映できるようにする。

今年度の目標（入居者様）

- ・入居者様とご家族が安心できるように、日々の生活を細かく観察し、他職種と連携しながら不安にならないよう努める。
- ・今、出来ることをひとつも減らさないように入居者様の残存機能を活かした援助をする。

今年度の目標（職員）

- ・日々の体調面・精神面の管理に気を付け、ユニットに感染症を「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」を徹底していく。
- ・介護職員としての技術・思いを一人ひとりが説明でき、実践できるようになる。

行事

- ・施設行事だけではなく、毎月2回以上のレクリエーションを企画・実施する事を継続する。
- ・入居者様から何をしたいか聞き取り得意な事を取り入れる。
- ・今まで経験した事がない新しいことに挑戦していく。

感染症への取り組み

- ・流行の時期が来る前から予防の取り組みを行い、感染症対策を徹底していく。
- ・感染症に罹患した場合(疑いでも)感染拡大を防ぐ対応を迅速におこなひ最小限にとどめる。

リスクマネジメント

- ・勉強会や内部研修を通して職員一人ひとりにどのようなリスクがあるか、その対応をどうするか理解を深める。
- ・予測できる事・予防できる事故を繰り返し起こさない。

ユニットケアの取り組み

- ・24Hシートの作成・更新を担当職員が中心になり居室担当の職員が継続していく。
- ・毎月のユニット会議で入居者様のその人らしさを多角的に検討し、情報共有をしていく。

今年度の目標（入居者様）

- ・入居者様が美味しい食事を召し上がられるように、盛り付けや雰囲気など食べる楽しみを感じていただける工夫をする。
- ・一日 1200 ccの水分補給を目指し水分の提供をこまめに行い、摂取総量を増やし体調管理に努める。

今年度の目標（職員）

- ・職員同士で些細なことでも相談し、信頼関係を構築し連携が取れる仕組みを作る。
- ・どの職員でも入居者様の生活リズムを把握し適切なケアが出来るように全員で協力して24Hシーートの更新に力を入れる。

行事

- ・入居者様に季節感を感じていただけるような行事の計画を立てて実施する。(月1回)
- ・入居者様の誕生日には余暇委員、居室担当者を中心にバースデーカードを作成しお祝いをする場を設けていく。

感染症への取り組み

- ・マスクの着用、こまめな手洗い、物に触れる前にアルコール消毒を徹底する。
- ・ユニット内の換気をしっかり行い、掃除など環境整備を徹底する。

リスクマネジメント

- ・事故発生後の対策をしっかりと行い、ユニット会議などで再検討し共有していく。
- ・個人ではなくユニット内でヒヤリと感じたことを共有し、入居者様の安心安全に努める。

ユニットケアの取り組み

- ・その人らしい暮らしの実現に取り組み入居者様が安心して24時間暮らせる仕組みづくりを目指す。
- ・入居者様の意向をくみ取りながらメンバーで考え、常に入居者様と向き合うユニットケアを目指す。



事業所名 むさしの園わかば 栄養課

栄養管理の実施

今年度の目標

- ・喫食者に合わせた美味しく食べてやすく、バランスの良い食事提供をする。
  - ・医療との連携を図り、低栄養状態を予防し、安心して召し上がっていただける食事を提供する。
- ①栄養管理の実施 ②行事食の実施  
③衛生管理の徹底 ④他職種との連携  
⑤人材定着・育成の取り組み

・「日本人の食事摂取基準 2020年版」に基づき食事摂取基準量を算出

男性：65～74歳1名、75歳以上20名

女性：65～74歳3名、75歳以上73名

(※1/20 現在利用者97名)

熱量	蛋白質	脂質
1494Kcal	52.2g	48.8g

衛生管理の徹底

行事食の実施

- ・毎月誕生日食やセレクトメニュー、喫茶店等のイベント食を実施
- ・定期的な新メニュー開発
- ・四季を感じる食事の提供  
端午の節句・七夕・土用丑の日  
敬老の日・ハロウィン  
クリスマス・お正月・七草  
鏡開き・バレンタイン・雛祭り 等
- ・他部署や各ユニットと連携し、食事に関するイベントの計画・実施。

・大量調理衛生管理マニュアルの概念に基づいた食品の衛生管理法で食中毒対策を実施する。

・厨房内は随時アルコール、次亜塩素酸にて消毒を行い、感染症の防止に努める。

・施設内で感染症が発生した場合は、マニュアルに従い感染の拡大を最小限に抑える。

・通常の感染症対策に加え、新型コロナウイルス感染症への対策と防止に努める。

人材定着・育成の取り組み

他職種との連携

- ・サービス担当者会議・ユニット推進委員会・カンファレンス等へ参加
- ・ユニットケアへの理解を深め、24Hシートを活用するなど、多職種との情報交換を行い、入居者様の暮らしを知ることにより細やかな栄養ケアプランを作成できるよう努める。

・調理・盛り付け等に対する意識強化  
・厨房内の掲示物は見やすく分かりやすいものにし、作業効率を上げる。

・より良い食事提供できるよう、調理員との連絡・打ち合わせ等を密に行う。

・快適に作業できるよう5Sを意識して取り組み、作業環境を維持する。

(5S…整理、整頓、清潔、清掃、躰)

令和3年度内部研修一覧

2021/2/26

月	特養 デイ 在支	担当	事務系	担当
4月	法人理念	理事長	←	←
5月	感染症① コロナ対策 (基本動作、ゾーニング等)	既存 わかば それぞれ実施	←	←
6月	ケアプラン	大山	プライバシー保護	室岡施設長
7月	事故(浴槽)再発防止 身体拘束①	アマノ (増田)	パワーハラスメント	大野施設長
8月	高齢者虐待 身体拘束②	指田	セクハラ・マタハラ	遠藤施設長
9月	非常災害	遠藤施設長	←	←
10月	認知症 プライバシー保護	遠藤施設長	不審者	既存 わかば それぞれ作成
11月	感染症②	タカラ薬局 (遠藤施設長)	←	←
12月	緊急時対応 事故再発防止②	外部講師 (大野施設長)	セキュリティ	神津所長
1月	褥瘡予防 ポジショニング	増田	クレーム対応	大迫
2月	ターミナルケア	島田	接遇	増田
3月	プレゼン大会			

※動画は新しいものを準備する(新規撮影、youtube検索、一部流用も可)

※基本的に集合研修は行わず、各自動画閲覧による研修とする

### 今年度の目標

- ・入居率100%を目指します
- ・感染症対策として、換気・消毒・手洗いうがい・マスクの着用・食事中の会話を避け、感染予防に努めます
- ・利用者様の体温を測定し、体調変化に気づき速やかにご家族様・ケアマネ等に連絡し対応します
- ・少人数にてクラブ活動を行い、メリハリのある生活を援助し、明るく活気のあるケアハウスを目指します。
- ・体力維持を目的に今年度も引き続き、リハビリロードを活用します

### 行事

- ・新年会・忘年会
- ・初詣
- ・節分・ひな祭り
- ・入間川七夕祭り
- ・フェスタ・敬老会
- ・外食会・買い物ツアー
- ・クラブ活動

### 業務内容

- ・食事前・入浴時の安否確認
- ・食事の準備・配膳・下膳
- ・体温測定・記録（毎日）
- ・ラジオ体操の声掛け
- ・移動販売・宅配物の受け取り
- ・郵便物集配
- ・業務日誌・ケース記録
- ・共有場所の清掃・換気・施錠
- ・夜勤者・宿直者へ申し送り
- ・見学者対応
- ・担当者会議

### 地域交流

- ・ボランティアと交流（傾聴・詩吟・将棋）
- ・わかばカフェ参加
- ・保育園児と交流会
- ・地域の方へケアハウス公開（見学）
- ・移動販売
- ・特養入居者様と交流（映画鑑賞）

### 人材定着の取り組み

- ・利用者様の情報を共有します
- ・話しやすい環境を提供します
- ・研修に参加し、モチベーションを上げ仕事に活用します
- ・職員の特技を発揮出来るよう、クラブ活動内容に取り入れます
- ・2ヶ月毎に上長と面接を行う機会を提供します

### 緊急時の対応

「ケアハウス緊急時マニュアル」にそって特別養護老人ホーム看護師、事務職員日直者、宿直者に協力して対応します。夜間はナースコール対応職員がケアハウス相談員に連絡し、相談員から家族に連絡をします

### 食事

- ・高齢者の健康などを考慮した栄養士による献立で、バランスのよい食事を提供します
- ・年2回、個別面談を行います
- ・朝食 7時30分
- ・昼食 12時
- ・おやつ 14時40分
- ・夕食 18時00分

### 研修・会議

- ・内部研修（毎月1回 動画発信視聴）
- ・外部研修（リモート研修）
- ・ケアハウス会議（毎月1回）
- ・事故対策委員会/身体拘束適正化検討委員会（年4回）
- ・むさしの園感染症対策委員会（毎月1回）



令和3年度デイサービス年間行事予定

	食	季節	制作
4月	桜餅	お花見	梅雨
5月	ランチ会	ハイキング	
6月	ミステリー	運動会	夏
7月	流しそうめん	夏祭り	
8月	ハンバーガー	アメリカンデー	秋
9月	ランチ会	敬老会	ハロウィン
10月	かぼちゃ	ハロウィン	クリスマス
11月	ミステリー	作品展	干支
12月	ケーキ	Xmas・忘年会	冬
1月	ぜんざい	初詣	
2月	ミステリー	節分	春
3月	ミステリー	雛祭	

コロナウィルス感染予防対策を行い実施します。  
 感染症対策委員会と連携をとり、利用者様の安全を考え中止する可能性があります。

令和3年度内部研修一覧

2021/2/26

月	特養 デイ 在支	担当	事務系	担当
4月	法人理念	理事長	←	←
5月	感染症① コロナ対策 (基本動作、ゾーニング等)	既存 わかば それぞれ実施	←	←
6月	ケアプラン	大山	プライバシー保護	室岡施設長
7月	事故(浴槽)再発防止 身体拘束①	アマノ (増田)	パワーハラスメント	大野施設長
8月	高齢者虐待 身体拘束②	指田	セクハラ・マタハラ	遠藤施設長
9月	非常災害	遠藤施設長	←	←
10月	認知症 プライバシー保護	遠藤施設長	不審者	既存 わかば それぞれ作成
11月	感染症②	タカラ薬局 (遠藤施設長)	←	←
12月	緊急時対応 事故再発防止②	外部講師 (大野施設長)	セキュリティ	神津所長
1月	褥瘡予防 ポジショニング	増田	クレーム対応	大迫
2月	ターミナルケア	島田	接遇	増田
3月	プレゼン大会			

※動画は新しいものを準備する(新規撮影、youtube検索、一部流用も可)

※基本的に集合研修は行わず、各自動画閲覧による研修とする

今年度の目標（チーム）

- ・利用者様の心身機能の維持  
マシン機器を活用したトレーニングを中心に筋力低下を予防します。
- ・認知症ケア  
多様な「脳トレプリント」・「制作活動」「シナプソロジー」等、三密を回避し、個々の認知症ケアに取り組みます。
- ・月の平均延べ人数 900人

人材定着の取り組み

- ・新人教育  
業務マニュアルとチェックリストを活用し、担当職員（介護リーダー）を中心に、細やかな指導を実践します。
- ・チームワーク  
コミュニケーションを大切にし、風通しの良い職場環境を整えます。
- ・離職率10%未満を目指します。

行事

- 4月 お花見散歩 5月 創立記念イベント
- 6月 映画鑑賞 7月 七夕まつり
- 8月 夏祭り 9月 敬老会
- 10月 ハロウィンイベント「仮装」
- 11月 回想法ライブラリー
- 12月 クリスマス会 ビンゴ大会
- 1月 お正月イベント「書初め」
- 2月 節分ゲーム 3月 ひな祭りイベント

研修

- ・感染症予防対策としてオンラインでの研修を行います。
- ・研修は、「特養・デイサービス・在宅支援」コースと「事務系」コースを準備し職種に合った内容で行います。
- ・研修参加後は「研修受講報告書」を記入し、研修の振り返りを行います。
- ・研修内容は別紙参照

リスクマネジメント

- ・「ひやりはっと・事故報告書」の内容を多種職で検討し、全職員への周知を図り、再発予防に努めます。
- ・クレームが更なるクレームとならないよう真摯に対応し、内容の分析、再発防止に努めます。
- ・「個人情報の取り扱いについて」の研修を実施し、情報漏洩防止に努めます。

その他の活動

- ・プロジェクトチーム  
介護職員と看護師が各チームに所属し、利用者様に喜ばれる質の高いサービスの提供を目指します。
- ・デイサービス会議  
感染症予防対策のため、集合形式の会議は自粛し、会議録を一月一回回覧し、各チームの進捗、利用者様のケースカンファレンス等情報共有を行います。

令和3年度内部研修一覧

2021/3/2

月	特養 デイ 在支	担当	事務系	担当
4月	法人理念	理事長	←	←
5月	感染症① コロナ対策 (基本動作、ゾーニング等)	既存 わかば それぞれ実施	←	←
6月	ケアプラン	大山	プライバシー保護	室岡施設長
7月	事故(浴槽)再発防止 身体拘束①	アマノ (増田)	パワーハラスメント	大野施設長
8月	高齢者虐待 身体拘束②	指田	セクハラ・マタハラ	遠藤施設長
9月	非常災害	遠藤施設長	←	←
10月	認知症 プライバシー保護	遠藤施設長	不審者	既存 わかば それぞれ作成
11月	感染症②	タカラ薬局 (遠藤施設長)	←	←
12月	緊急時対応 事故再発防止②	外部講師 (大野施設長)	セキュリティ	神津所長
1月	褥瘡予防 ポジショニング	増田	クレーム対応	大迫
2月	ターミナルケア	島田	接遇	増田
3月	プレゼン大会			

※動画は新しいものを準備する(新規撮影、youtube検索、一部流用も可)

※基本的に集合研修は行わず、各自動画閲覧による研修とする



今年度の目標件数

- ① 総合事業対象者担当件数：月 20 件
- ② 新規要介護件数：年間 60 件
- ③ 要介護担当件数：月平均 200 件

①は常勤ケアマネ5件、非常勤ケアマネ3件を担当目安とし、地域包括支援センターと連携して受け入れます。

基本方針

◆至福の会基本理念である「関わる全ての人を幸福にすること」を柱とし、地域福祉に関する総合相談窓口としての役割、機能を果たします。

◆可能な限り自宅で自立した生活を送られるよう、本人のニーズに対して、必要な社会資源やサービスを取り入れたケアプランを作成します。

◆支援者家族にも障がいや難病を抱えながら介護している方も増えており、家族支援もケアマネジャーの役割が色濃くなっていることから、必要な機関との関わりを強めていきます。

研修・会議

◆外部研修  
相談援助技術や、地域福祉等、各団体が行う研修へ積極的に参加し、知識と技術を学びます。各自が習得した技術や情報をセンター内で共有し、それぞれのスキルアップに活かします。(感染症の流行状況に応じて、オンライン研修等を活用する)

◆内部研修  
在宅部門合同内部研修

◆会議  
入曽、水野包括日常生活圏域会議  
狭山市自立支援型地域ケア会議  
支援センター会議  
ケースカンファレンス

◆介護保険サービス事業者協議会  
定例会参加

◆コミュニティサロン協議会定例会  
年1回

\*現状の相談援助技術に満足せず、常に自己研鑽に努めます。

地域交流

◆ふれあいの会  
6月、11月 年2回開催

- 《目的》
- ・地域高齢者の実態把握
  - ・講座・相談による各種保険及び福祉サービスの情報提供
  - ・閉じこもり予防、地域住民の交流の場の提供

◆わかばカフェ  
毎月第2火曜日 14時～16時

- 《目的》
- ・認知症の人とその家族、地域住民が専門職員と情報共有し、理解し合える場の提供(認知症に限定しない)
  - ・地域の様々な課題についてキャッチできる場所にする

\*いずれも感染症の流行状況に応じて実施とします。しかし、現状では施設内での開催が難しいことから、地域の集会所で、万全な感染対策の上で少人数開催するなど、今までと違った形での開催方法を検討していきます。

## 令和3年度内部研修一覧

2021/2/26

月	特養 デイ 在支	担当	事務系	担当
4月	法人理念	理事長	←	←
5月	感染症① コロナ対策 (基本動作、ゾーニング等)	既存 わかば それぞれ実施	←	←
6月	ケアプラン	大山	プライバシー保護	室岡施設長
7月	事故(浴槽)再発防止 身体拘束①	アmano (増田)	パワーハラスメント	大野施設長
8月	高齢者虐待 身体拘束②	指田	セクハラ・マタハラ	遠藤施設長
9月	非常災害	遠藤施設長	←	←
10月	認知症 プライバシー保護	遠藤施設長	不審者	既存 わかば それぞれ作成
11月	感染症②	タカラ薬局 (遠藤施設長)	←	←
12月	緊急時対応 事故再発防止②	外部講師 (大野施設長)	セキュリティ	神津所長
1月	褥瘡予防 ポジショニング	増田	クレーム対応	大迫
2月	ターミナルケア	島田	接遇	増田
3月	プレゼン大会			

※動画は新しいものを準備する(新規撮影、youtube検索、一部流用も可)

※基本的に集合研修は行わず、各自動画閲覧による研修とする

### 基本方針

☆至福の会の理念である「関わる全ての人を幸福にすること」を目的とし「自分が心から利用したい」サービスを提供します。  
☆介護を必要とする高齢者が「生活者」として自立した立場を保ち、その人らしい生き方が出来るように援助します。

### 対象となる方

〔介護保険制度〕  
・65歳以上で要介護状態と認定された方  
・40歳以上65歳未満で、加齢に伴う特定疾病によって要介護状態と認定された方  
〔狭山市介護予防・日常生活支援総合事業制度〕  
・要支援状態と認定された方

### サービス提供の基本視点

☆利用者様が自立的に生活できるよう支援します。  
☆利用者様の自己決定を支援します。  
☆利用者様の精神的・身体的な変化に気づき、利用者様に合わせた支援が出来るよう努めます。  
☆援助者として、専門的な知識の習得と技術の向上を図り、成長する努力を行います。

### サービス種類・内容

〔身体介護〕  
・利用者様の身体に直接接触するサービス提供  
(排泄介助・入浴介助等)  
〔生活援助〕  
・掃除、洗濯、調理などが困難な方へのサービス提供  
(調理・買い物・洗濯・振込み・ごみ出し等)

### サービス目標

☆チームケアを重視し、一人の力で何でも行うのではなく、皆で力を合わせて最良のサービスを提供します。  
☆ヘルパー全員で利用者様の情報共有を行い、同じサービスの提供が出来るようにします。  
☆利用者様に「笑顔と元気」をお届けします。

### 目 標

〔事業所目標〕  
☆ヘルパー一人ひとりが目標を持ち、スキルアップ出来るよう研修の開催や振り返りの機会を作り、事業所としてのスキルアップを目指します。  
〔目標利用者数〕  
登録者数：65名  
月間利用者数：60名

## ヘルパー会議計画表

毎月第4金曜日（18：00～19：30）開催予定

月	内 容	月 日
4月	ケアカンファレンス 感染症（コロナウイルス）	4/23
5月	ケアカンファレンス 緊急時の対応について	5/28
6月	ケアカンファレンス 熱中症・脱水について	6/25
7月	ケアカンファレンス 調理実習	7/23
8月	ケアカンファレンス 記録の必要性	8/27
9月	ケアカンファレンス 認知症について	9/17
10月	ケアカンファレンス 足浴（実習）	10/22
11月	ケアカンファレンス ヘルパーの仕事範囲はどこまで？（介護保険について）	11/26
12月	ケアカンファレンス 感染症（インフルエンザ・ノロウイルス）	12/17
1月	ケアカンファレンス 高齢者虐待	1/28
2月	ケアカンファレンス 病気を学ぶ	2/25
3月	ケアカンファレンス 1年の振り返り	3/25

部署目標	<p>【1】採用：学校・職業訓練校訪問、他社採用担当者と交流による情報収集          コロナ禍における市場変動調査及びニーズ確認          介護職：40人（内新卒6人）、保育：5人（内新卒3人）</p> <p>【2】人材定着支援：サイボウズなどICTを活用して情報共有の迅速化</p> <p>【3】離職防止：法人離職率を10%未満</p>
------	---

行動目標	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計
学校訪問	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
合同説明会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
中途採用数	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	37
新卒採用数	0	0	0	0	0	1	2	2	2	1	0	0	8
年間計画	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計
入職者面談	→												
既存職員面談	→												
人材定着支援	→												

## 行動目標

## 【採用目標】

1. 学校訪問：新卒採用の為、訪問の可否を確認しつつ訪問。難しい場合はZOOM面会を確認する。
2. 合同説明会参加：埼玉県の外、ハローワーク・社協・労働局が主催するイベント参加。  
また有料で開催されるユメックス・キャリアスのイベントへも地域・予算・ターゲット層を確認して参加して中途・新卒採用を促進する。
3. 法人ホームページ：光洋通信と月1回の会議を行い、検索ワード・クリック数などを共有しホームページを活用した採用を継続・改善をしていく。
4. 採用活動管理：学校訪問、説明会参加など行動を予実管理し効果が高いものを分析する。
5. 採用活動費用管理：採用にかかる費用を集計して予算管理をする。予算は前年度同様6,000,000円。  
→ 令和2年度 予算6,000,000円 実績 5,985,749円（HPリスティング・媒体・合説代など）

## 【定着支援目標】

1. 新卒フォローアップ：1・3・6・12か月で面談及び研修を実施する。
2. 中途入社職員対応：入職後に面談の機会を作り、悩みや不安点を抽出し施設長等と共有する。
3. 職場環境整備：職場環境や福利厚生を整える。（書類や制度の改定など）

## 【離職防止目標】

1. 職員面談：状況に応じて職員面談を実施して退職を未然に防ぐ。
2. 施設長と情報共有：配置転換や離職理由から防止できる案はないか共有する。

## 【その他】

今年度の目標

担当相談員の体制

- ・相談開始から終結まで3か月以内を目標にします。
- ・6か月に一回行われる狭山市内セーフティ事業者連絡会に参加します。
- ・埼玉県社協への請求はその月に完了するよう事務を行います。

- ・相談員は、ケアハウス施設長、サービス推進課、むさしの園特養相談員の3名体制で相談にあたっています。

支援方法について

狭山市の安心セーフティネット事業は、生活困窮者自立支援機関からの相談がほとんどとなっています。

今後も相談元と連携し、本人の自宅に出向き生活状況の聞き取り、実態調査を行います。調査後、利用可能な制度や機関がないか検討し、どこにもつながられないまたは利用できる制度がない場合に経済的支援を行っています。おおむね3か月の期間で本人の自立への支援を行っていきます。

人材育成について

- ・定期的実施される、安心セーフティ事業相談員研修や、ソーシャルワーク研修の受講に努める。
- ・支援する上で地域の現状の理解や福祉活動者との協力が必要になります。相談員は地域の交流の場に積極的に参加します。

目 標	<p>【1】 入園児を7月までに15名（稼働率79%）を達成する。</p> <p>【2】 保育の質の向上：キャリアパス研修を積極的に受講する。 常勤職員を中心に内部研修を実施する。</p> <p>【3】 職員定着：常勤・非常勤に対する面談の実施。常勤職員1名の採用。</p>
-----	---

令和3年度の入園児目標

定期的	クラス	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	1	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	2	4	4	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	13	13	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15
稼働率	68%	68%	74%	79%	79%	79%	79%	79%	79%	79%	79%	79%	
一時預かり 利用可能数	6	6	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	

行動目標

【入園児目標】

7月までに15名（稼働率79%）の達成。

常勤1名を追加採用するためには、できるだけ月極利用者を増やし収入を増やす必要がある。

令和2年度の一時預かりの1日の平均利用人数が3名程度であること、利用していた児童の中に令和3年度で小学校に上がる子がいるため、本年度の一時預かり枠を4名と設定した。

【保育の質の向上】

令和2年度より研修がe-ラーニングでの実施が増えたため、PCの追加購入を行い空いた時間で効率的に研修を受講できるように工夫する。

キャリアパス研修を積極的に受講し、学んだ内容を内部研修で共有し最新の保育の情報を学べるようにしていく。

【離職防止目標】

1. 常勤職員の面談を2か月に1回行う。

2. 常勤保育士1名を採用し、常勤職員が有給消化しやすい職員体制にする。

常勤保育士3名体制が実施できたら、内部研修、イベント企画担当などの仕事をすべて常勤職員だけで割り振り、非常勤の負担を軽くする。

部署目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園全体の稼働を年間 平均98% (弾力運営含む)</li> <li>・一時預かり事業を年間利用者 延べ1500名を目標とする</li> </ul>
------	---

運営目標	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			平均
通常保育稼働	95%	95%	95%	95%	95%	95%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	98%
一時預かり事業	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	1500
年間計画													
外部授業の導入	→												

行動目標

<p><b>【部署所目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稼働を年間平均98%</li> <li>4月は86名スタートを想定しており、感染症の影響を考慮しつつ上期で定員90名の受入れを想定</li> <li>・一時預かり事業は年間利用者 延べ1500名を目標とする。一日平均約6名</li> </ul> <p><b>【行動目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園長変更に伴い、組織体制の変更</li> <li>・園庭開放を地域子育て支援センターを共同で実施。 子育て支援の窓口として宣伝効果を高め、一時預かり事業の集客へ繋げる</li> <li>・外部授業チャイルドステップの導入1回/月 園児の就学準備や職員のスキル向上を目的として導入。 ECCジュニアボランティアの受入れ 1回/月 近隣のECCホームティーチャーの申し入れから月1回のボランティアを導入</li> <li>・保育士の研修を充実 キャリアパス研修と職員のスキル向上を目的とした研修を中堅向けに実施</li> <li>・年間行事の見直し 感染予防の観点から保護者参加の行事を減らし、インスタグラムでの配信を増やす</li> </ul>
---